

No.	410-030	事務事業名	健康福祉まつり開催事業				所属部	保健福祉部
							所属課	保健福祉政策課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあいまちづくり				課長名	花堂 誠
	施策名	0 2	健康づくりの推進				所属G(係)	政策グループ
	基本事業名	0 1	市民の健康意識の向上				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0:3	0:1	0:1	40090	社会福祉総務費	なし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
市民の健康増進、生活の質の向上及び福祉の啓発のため健康福祉まつりを開催します。 健康コーナー【健康・歯科・歯科矯正相談、献血】 福祉コーナー【福祉器具展示、介護・福祉・認知症相談、転倒予防教室】 式典・表彰【医療・健康づくり功労者、社会福祉功労者、8020運動表彰、健康福祉作品展(小・中学生)表彰、健康運動普及推進委員事例発表】 講演会(健康・福祉・介護関係)						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 19 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事業概要と同様	ア 来場数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度内容に追加予定 【健康生きがいつくり推進モデル事業の事例発表】	イ 参加団体数	団体
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	単位
		ア 市民	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	健康・福祉に対する知識の普及を図り、福祉・健康意識が向上し健康づくりの関心が高まること。	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 各ブース参加者/来場者数	%
		イ 健康・福祉に対する知識の必要性を知り関心の高まった市民の数	人
結果(どんな結果に結び付けるのか)	自身の健康について関心を持ち、健康づくりのための知識を身に付ける。	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 栄養・運動・休養を心がけている市民の割合	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円		100	34	2,264	
		事業費計(A)	千円	0	100	34	2,264	
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	100	34	2,264		
活動指標	ア	人		未把握	2,500	3,100		
	イ	団体		20	26	26		
	ウ							
対象指標	ア	人		127,773	127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	%		未把握	88	80		
	イ	人		未把握	2,500	3,100		
	ウ							
上位成果指標	ア	%		13.8	20.6	24.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 合併後にイベント調整会議の中で、社会福祉大会と健康大会を統一し、平成19年度より開催。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 特になし	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	健康福祉まつり開催事業	所属部	保健福祉部	所属課	保健福祉政策課
-------	-------------	-----	-------	-----	---------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか? 市民の健康増進、生活の質の向上及び福祉の啓発を目的とするので、結びついている。	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か? 市民の健康増進、生活の質の向上及び福祉の啓発そのものが行政の役割である。	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか? 市民	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか? 市民が健康福祉まつりを通して、健康・福祉に対する知識の必要性・感心をもっていただく。	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 市民の健康増進、教養の向上及び福祉の増進の後退につながる。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? 児童・生徒の作品募集等、事業の一部につき連携できる事業がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 著名講師による講演会等実施方法の検討。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど) 担当は最小限(1名の兼務)であるため。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか? 不特定多数の市民を対象としているので公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	一人でも多くの市民の方に参加していただくようにさらなる検討が必要である。実質的に行政主体となっていることから、各関係機関・団体と行政の協働による実行体制の検討が必要である。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
<p>&lt;改革改善案&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>平成21年度から庁外関係機関・団体を主とする実行委員会組織が事業実施することとする。</li> <li>市民へ「まつり」の周知徹底を行う。広報の方法の検討が必要。</li> <li>「まつり」の内容の検討が必要。従来の実施方法の見直しを含む。</li> </ol>																									

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 実行委員会において課題を整理し、多角的に検討する。

政策体系	No.	460-080	事務事業名	健康づくり啓発事業	所属部	保健福祉部
	政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり	所属課	健康増進課	
	施策名	02	健康づくりの推進	課長名	宮本 順子	
	基本事業名	01	市民の健康意識の向上	所属G(係)	地域保健係	
				電話番号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	健康増進法
	一般	04	01	06	957020	健康づくり推進事業費	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成15年の健康増進法の施行により地方公共団体は健康増進に関する正しい知識の普及に努めなければならないとなっているため、合併後、本市でも積極的に取り組んでいる。(健康づくりを市民に積極的に推進するため、市民に対して健康づくりの普及・啓発を行う。)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	心の健康づくり講演会の実施や食生活改善推進員の養成講座等開催。	ア 実施回数	回
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	健康マップの作成や健康づくり講演会等の実施	イ 参加人数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	健康づくりの意識が向上する。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	自身の健康について関心を持ち、健康づくりのための知識を身に付ける。	名称	単位
		ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 健康福祉まじりの参加者	人
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 栄養・運動・休養を心がけている市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	305	669	596	1,243	
		事業費計(A)	千円	305	669	596	1,243	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	305	669	596	1,243	
活動指標	ア	回	2	2	2	2		
	イ	人	249	440	837	900		
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	734	2,000	2,500	2,550		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	18.2	13.8	20.6	24.0		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 健康づくりは市民の健康意識を高め、市民も地域も行政も一緒になって健康づくりに取り組む必要があるため。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? H15健康増進法施行により地方公共団体は健康増進に関する正しい知識の普及に努めなければならないとなっている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 講演会の市民アンケートからいろいろな講演会実施の要望が多数でている。

事務事業名	健康づくり啓発事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	健康づくり啓発事業を行うことで、市民の健康づくりの意識が向上し自身の健康について感心を持ち健康づくりのための知識を身につけることに結びつく。																											
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	健康増進法第4条に基づき実施しており、健康づくり啓発事業を行うことは、市の重要な責務である。																											
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	市民すべてを対象としており、意図は適切である。																											
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	現在も広報や講演活動で普及啓発を行っているが、さらに、講演会等の対象者の拡充や健康づくりができる体制づくりをすることにより、多くの市民の健康づくりの意識向上につながると考える。																											
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	健康増進法でも地方公共団体は健康増進に関する正しい知識の普及に努めなければならないとなっている。また、自身の健康についても感心を持ち、健康づくりのための知識を身につける機会失うことになる。																											
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	他事務事業及び類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																												
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	最小限の事業費で実施しているので削減余地はない。																											
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	最小限の人件費で実施しているので削減余地はない。																											
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	全市民が対象であり、公平である。																											
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		この事業は適切におこなわれているが有効性について若干の見直し余地がある。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																															



事務事業名	各種がん検診事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↷	各種がん検診事業を行うことで、がんの早期発見、早期治療につながり、経済的負担の抑制ができ、市民が心身ともに健やかな生活を送ることができる。																						
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↷	厚生労働省のがん検診実施のための指針に基づき実施している。																						
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	厚生労働省のがん検診実施のための指針に基づき40歳以上(一部20歳以上の女性)を対象としている。																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↷	未受診者への意識の高揚を図り、受診率を高める必要がある。																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↷	検診の機会がなくなり、早期発見・早期治療に結びつかない。市民の健康が脅かされる。医療費が膨大になる。																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↷ 職場健診の機会がない方や自営業の方の場合、病院での検査に行かない限り受診の機会がないため、身近な場所で健診を受けることができる機会を設けることは行政として必要である。																							
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	最小限の事業費で実施しているので削減は難しい。																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	最小限の人件費で実施しているので削減は難しい。																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↷	40歳以上(一部20歳以上の女性)の市民全てが対象であるので公平・公正である。																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	若い世代へのがん検診受診率アップとともに、結果が要精密検査になった方への受診勧奨にも力を入れていきたい。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		コスト																						
<改革改善案> 総合健診での若年者への普及啓発を図り、受診率の向上を目指す。 未受診者への意識の高揚を図り、受診率を高めていく。 今後医療保険者と連携して、受診機会のない者への受診勧奨を勧める。		<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 今後医療保険者と連携して、受診機会のない者への受診勧奨を勧める必要がある。																										

No.	460-110	事務事業名	肝炎ウイルス検診事業	所属部	保健福祉部
政策体系	政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり	所属課	健康増進課
	施策名	02	健康づくりの推進	課長名	宮本 順子
	基本事業名	02	健康管理の実践支援	所属G(係)	健康増進グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	04	01	04	74025	健康診査事業	健康増進法

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
当該年度(4月1日～翌年の3月31日)中に40歳になる市民と、41歳以上で過去に受診したことがない市民を対象に実施する。 受診者は、基本型(B型+C型)600円、C型のみ500円、B型のみ100円の中から選択し、それぞれの受診料を負担する。 ただし、非課税世帯及び生活保護世帯の人は、減免申請より受診料は無料となる。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 14年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度～ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 肝炎ウイルス検診のみを集団検診で実施した。		単位	
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		ア	実施回数
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 40歳の節目の年齢にあたる市民全員と、41歳以上で過去に肝炎ウイルス検診を受けたことがなく検診を希望する者		イ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民が肝炎ウイルスに関する正しい知識を持ち、自分の健康は自分で守るという自覚が高まる。肝炎の早期治療につながる。		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	対象者
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	受診者数
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	健診を受診した市民の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円			350	385	
		地方債	千円					
		その他	千円	965	545	153	300	
		一般財源	千円	2,691	2,710	322	607	
		事業費計(A)	千円	3,656	3,255	825	1,292	
トータルコスト(A)+(B)		千円	3,656	3,255	825	1,292		
活動指標	ア	回	67	69	3	3		
	イ							
対象指標	ア	名	67,517	68,163	1,509	1,600		
	イ							
成果指標	ア	人	1,664	1,974	259	500		
	イ							
上位成果指標	ア	%	41.2	40.5	40.8	53.0		
	イ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 老人保健法に基づき平成14年から実施。平成20年度からは健康増進法に基づき実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 実施当初は、40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳の節目年齢と、過去に大きな手術や輸血をした人を対象にしていたが、老人保健法改正により平成19年度から対象者の変更があった。また、平成20年度から特定健診が開始され、肝炎検診を単独で実施した。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし	

事務事業名	肝炎ウイルス検診事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																				
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																									
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 肝炎ウイルス検診を行うことで、市民が肝炎ウイルスに関する正しい知識を持ち、自分の健康は自分で守るという健康意識が高まる。肝炎の早期発見、早期治療につながり、その結果市民の医療費などの経済的負担が軽減され健やかな生活を送ることができる。																							
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 健康増進法に基づき実施しており、検診を行うことは市の重要な責務である。																							
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 意図・対象者は健康増進法に基づいており、妥当である。																							
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ 未受診者への受診勧奨の工夫を図ることで受診率向上につながる。																							
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 疾病の早期発見・早期治療の機会を失うことになる。																							
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ 職場健診の機会がない方や自営業の方の場合、病院で検査できない限り受診の機会がないため、身近な場所で健診を受けることができる機会を設けることは行政として必要である。																							
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) 集団方式で実施しているため削減余地はない。																							
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) 集団方式で実施しているため削減余地はない。																							
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 市内全域でどこでも受診できる体制をとっているため受益機会は公平・公正である。費用負担についても国の指針に基づいて実施しているため、公平・公正である。																							
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																									
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		未受診者の解消を図り、受診機会を確保できるよう努める必要がある。																							
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持																								
	低下																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																									



No.	460-120	事務事業名	歯周疾患検診事業				所属部	保健福祉部
							所属課	健康増進課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあうまちづくり				課長名	宮本順子
	施策名	0 2	健康づくりの推進				所属G(係)	健康増進グループ
	基本事業名	0 2	健康管理の実践支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 4	0 1	0 4	74040	成人歯科保健事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
歯の健康づくりを目的に、当該年度(4月1日～翌年3月31日)中に40歳・50歳・60歳・70歳の市民に対して歯周疾患検診受診票を交付し、市内委託医療機関において問診・歯周組織検査・歯科保健指導を行う。この事業は、市民の負担はなく無料で受診できる。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
19年度実績(19年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同じ		ア	委託医療機関
		イ	
		ウ	
20年度計画(20年度に計画している主な活動)		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
前年度と同様		名称	
		単位	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		ア	40歳・50歳・60歳・70歳
40歳・50歳・60歳・70歳になる市民		イ	
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
歯周疾患の早期発見、早期治療につながる。		名称	
		単位	
		ア	受診者数
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。		名称	
		単位	
		ア	健診を受診した市民の割合
		イ	%
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円	623	735			
		国庫支出金	千円	623	735	1,517	1,813	
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	624	737	521	2,747	
	事業費計(A)	千円	1,870	2,207	2,038	4,560		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	1,870	2,207	2,038	4,560		
活動指標		ア	件	集団	集団	47	48	
		イ						
		ウ						
対象指標		ア	人	5,531	5,898	6,588	6,435	
		イ						
		ウ						
成果指標		ア	人	1,422	1,558	532	1,280	
		イ						
		ウ						
上位成果指標		ア	%	41.2	40.5	40.8	53.0	
		イ						
		ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
生活習慣病や介護予防の観点から歯周病の予防を目的とし、平成18年度より開始した。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
法的根拠が老人保健法(老人保険事業)から健康増進法(健康増進事業)に変わった。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
歯科医師会から健診の継続の要望がありました。 市民から歯周疾患の早期発見につながったとの意見がありました。	

事務事業名	歯周疾患検診事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↷	歯周疾患検診は疾患の早期発見のみならず、検診の実施により健康増進への意識を高揚させ、疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになり、快適な高齢期を迎えることができる。																						
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↷	市は健康増進法に基づく健康増進事業の一つとして、計画的に事業を推進しなければならない。																						
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	健康増進事業で定められた対象者に実施しており適切である。																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↷	平成19年度までは総合健診受診者のみに実施していたが、平成20年度から始良郡歯科医師会霧島市支部の協力のもと医療機関委託としたが、受診者数は減少した。検診の必要性を周知し、受診者数を増加させる。																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↷	一般的に歯科へは治療が必要ととき以外に受診する人は少ない。検診が廃止になると歯及び歯周組織等口腔内の状況について把握する機会が少なくなる。																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↳ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↷	類似事業がない。																						
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	事業費は医療機関への委託料であり、削減できない。																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	平成20年度から医療機関委託としたため、通知事務と結果入力事務のみであり、削減余地はない。																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↷	対象者全員に通知しており公平である。																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成19年度までは総合健診受診者のみに実施していたが、平成20年度から始良郡歯科医師会霧島市支部の協力のもと医療機関委託としたが、受診者数は減少した。検診の必要性を周知し、受診者数を増加させる。																								
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
<改革改善案> 広報や受診票交付時などを通じて、検診の必要性を周知していく。																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

No.	460-130	事務事業名	生活習慣病予防健診事業	所属部	保健福祉部
		政策名	0 5 たすけあい支えあうまちづくり	所属課	健康増進課
政策体系		施策名	0 2 健康づくりの推進	課長名	宮本順子
		基本事業名	0 2 健康管理の実践支援	所属G(係)	健康増進グループ
				電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠
	一般	0 4	0 1	0 4	74025	健康診査事業	健康増進法

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成20年4月から厚生労働省令で定める健康増進事業として、国民健康保険や社会保険などの医療保険に加入していない140歳以上の方に対して健康診査を市が行うこととなった。対象者に生活習慣病予防健診の案内を郵送し、市が委託した医療機関において健康診査を受診する。(問診・身体測定・診察・血圧測定・血液検査・尿検査を行い、必要に応じて心電図検査・眼底検査・貧血検査を行う。)ただし、生活習慣病により入院又は治療中の方、妊産婦、当該年度(4月1日～翌年3月31日)中に人間ドックを受診又は受診予定の方は対象外。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (H 20 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 40歳以上の市民で国民健康保険や社会保健などの保健に加入していない方を対象に、生活習慣病予防健診を実施した。  21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様  対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 40歳以上の生活保護受給者で受診要件に該当する人  意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 疾病の早期発見ができ、メタボリックシンドローム予防ができる。  結果(どんな結果に結び付けるのか) 疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。	活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 委託医療機関数 箇所 イ 受診希望者 人 ウ
	対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 ア 40歳以上の生活保護受給者で受診要件に該当する人 人 イ ウ
	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 受診者 人 イ ウ
	上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 名称 単位 ア 健診を受診した市民の割合 % イ ウ

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円		256	372			
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円			338	586		
		事業費計(A)	千円			594	958		
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	0	594	958			
活動指標	ア	箇所			60	62			
	イ	人			63	100			
	ウ								
対象指標	ア	人			482	366			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人			63	100			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%			40.8	53.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成20年4月から厚生労働省令で定める健康増進事業として、国民健康保険や社会保険などの医療保険に加入していない140歳以上の方に対して健康診査を市が行うこととなった。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 近年、中高年の男性を中心に肥満者の割合が増加傾向にあり、内臓脂肪型肥満に着目した内臓脂肪症候群(メタボリックシンドローム)の予防として、各医療保険者が保健事業を実施することとなり、医療保険に加入していない者に対して、市が実施することとなった。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 特になし。

事務事業名	生活習慣病予防健診事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																											
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																											
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																											
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																											
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																											
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?																											
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																											
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																											
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																											
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		受診率向上につながる対策を講じ続ける必要がある。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																												
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)    (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 対象者へのちらし等配付については、生活保護を担当する生活福祉課との連携を強化して、コストの抑制に努める必要がある。																															

No.	460-140	事務事業名	総合健診事業		所属部	保健福祉部	
			所属課	健康増進課			
政策体系	政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり			課長名	宮本順子
	施策名	02	健康づくりの推進			所属G(係)	健康増進グループ
	基本事業名	02	健康管理の実践支援			電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令 根拠	健康増進法
	一般	04	01	04	74025	健康診査事業		
	一般	04	01	04	74035	がん検診等事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
若い世代から健康に関する認識と自覚の効用を図るため、当該年度(4月1日～翌年3月31日)中に30歳・35歳の節目にあたる市民を対象に、総合健診の案内及び受診希望調査ハガキを郵送する。返信ハガキ等により受診を希望した市民に対して、国分、すこやか、牧園保健センターにおいて集団による基本健康診査・歯周病検診・大腸がん検診・胃がん検診・腹部超音波検診を無料で実施する。 平成21年度から昨年度に受診できなかった市民(31歳・36歳)も対象として実施する。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (H 18年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度～ 年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
平成20年度から特定健診が開始されたため、対象者を30歳と35歳とし、健康診査・大腸がん検診・胃がん検診・腹部超音波検診・歯周病検診を実施した。		ア	実施回数
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	30歳・35歳受診希望者
平成21年度は30歳・35歳の市民及び昨年度受診できなかった市民(31歳・36歳)を対象に、健康診査・大腸がん検診・胃がん検診・腹部超音波検診・歯周病検診を実施する。		ウ	31歳・36歳受診希望者
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
30歳・35歳の市民		名称	
昨年度に受診していない131歳・36歳の市民		単位	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		ア	30歳・35歳
疾病の早期発見ができるように変える。		イ	昨年度に受診していない131歳・36歳
結果(どんな結果に結び付けるのか)		ウ	
疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	30歳・35歳受診者
		イ	31歳・36歳受診者
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		単位	
		ア	健診を受診した市民の割合
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	2,312	2,121		
		都道府県支出金	千円	2,312	2,121		
		地方債	千円				
		その他	千円				
		一般財源	千円	20,703	31,019	12,789	15,310
		事業費計(A)	千円	25,327	35,261	12,789	15,310
トータルコスト(A)+(B)		千円	25,327	35,261	12,789	15,310	
活動指標	ア	回	23	25	8	10	
	イ	人	2,246	1,903	890	1,063	
	ウ	人				257	
対象指標	ア	人	7,057	7,567	3,384	3,140	
	イ	人				2,610	
	ウ						
成果指標	ア	人	1,751	1,897	748	850	
	イ	人				205	
	ウ						
上位成果指標	ア	%	41.2	40.5	40.8	53.0	
	イ						
	ウ						

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
事業を開始した当時の老人保健法では40歳以上が対象者だったが、若い世代から健康に関する認識と自覚の効用を図るために30歳を対象者とし、40歳・50歳・60歳・70歳の節目年齢の方の健康意識を高める目的で平成18年度から無料で実施した。平成20年度からは法改正もあり、30歳・35歳を対象としている。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成20年度からは、特定健診が開始されるため、対象者を30歳と35歳として実施する。平成20年度は、妊婦から妊娠中は健診が受けられないため、受診できる機会を広げてほしいという要望があったため、平成21年度は31歳、36歳のかたにも受診の機会を設ける。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
住民から、無料のため受診しやすく健康管理に活用できるとの意見がだされている。妊婦であると受診できない内容もあるため、次年度に受けられるようにしてほしいとの要望がある。	

事務事業名	総合健診事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																						
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																											
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?																							
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																							
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																							
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																							
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																							
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷		目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか? <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷																							
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																							
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																							
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																							
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																											
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																									
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		市民ニーズを的確に捉えながら手段を工夫し、効率性の確保を検討する。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)   (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																											



事務事業名	感染症予防事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																																			
<b>2 評価の部 (SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																																								
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由↷】	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由↷】	市民の健全な生活を守り、住みやすいまちづくりをすることで健康増進につながると考えられる。																																				
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由↷】	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由↷】	感染症が発生した時に、消毒等実施することで蔓延を防ぎ市民の健全な生活を守ることは市の責務である。																																				
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由↷】	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由↷】	市民全体に対して対応することになるため、適切といえる																																				
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由↷】	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由↷】	感染症対策に対して体制整備を行うことで市民が安心して冷静な対応ができることにつながるため関係各課や関係機関との連絡調整が必要である。																																				
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由↷】	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容↷】	感染症が発生したときは、蔓延化の恐れがあり、市民の健全な生活を守ることができない。																																				
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる↷ <input type="checkbox"/> 連携できる↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない↷ <input type="checkbox"/> 連携できない↷	他事務事業及び類似事業はない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由↷】																																					
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由↷】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由↷】	今後は新たな感染症への対応もせまられるため今以上のコスト増が予想される。																																				
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由↷】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由↷】	今後は新たな感染症への対応もせまられるため今以上のコスト増が予想される。																																				
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由↷】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由↷】	市民誰もが感染症の脅威にさらされる可能性があり公平・公正であると考えられる。																																				
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]</b>																																								
(1) 1次評価者としての評価結果			(2) 全体総括(振り返り、反省点)																																					
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	感染症に対して市民が安心して冷静に対応できるように体制整備に努める必要がある。																																				
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																																						
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																						
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)	<input type="checkbox"/> 現状維持	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	向上				維持				低下	向上				維持			
		コスト																																						
		削減				維持	増加																																	
成果	向上																																							
	維持																																							
低下	向上																																							
	維持																																							
低下	向上																																							
	維持																																							
<input type="checkbox"/> 目的再設定	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)	(従来通りで特に改革改善をしない)																																						
<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)																																							
<改革改善案> 感染症対策会議等を開催し、情報の共有、今後の対応を確認に努める必要がある。																																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																																								



No.	460-160	事務事業名	結核予防事業				所属部	保健福祉部		
							所属課	健康増進課		
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあうまちづくり				課長名	宮本順子		
	施策名	0 2	健康づくりの推進				所属G(係)	地域保健G		
	基本事業名	0 2	健康管理の実践支援				電話番号	45-5111		
予算科目	会計	一般	0 4	0 1	0 2	61020	事業名	結核予防事業	法令根拠	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
6ヶ月未満の乳児を対象に無料で、委託医療機関でのBCG予防接種の実施。 65歳以上の市民を対象に、無料で、市内各地区公民館、保健センターで検診車による胸部レントゲン撮影。レントゲン撮影により要精密検査とされた者には、精密検査を受診するように指導する。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 26 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア:BCG委託医療機関数	箇所
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ:結核検診会場数	箇所
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	生後6ヶ月未満の乳児 65歳以上の市民	ウ:BCG接種者数	人
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	結核の早期発見と予防に寄与する。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。	名称	単位
		ア:生後6ヶ月未満の乳児	人
		イ:65歳以上の市民	人
		ウ:	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア:BCG接種率	%
		イ:結核検診受診率	%
		ウ:発見された結核患者数	人
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア:健診を受診した市民の割合	%
		イ:	
		ウ:	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	23,957	25,309	26,911	27,450		
	事業費計(A)	千円	23,957	25,309	26,911	27,450			
活動指標		ア 箇所	26	26	26	26			
		イ 箇所	99	96	85	86			
		ウ 人	1,230	1,247	1,314	1,308			
対象指標		ア 人	1,308	1,288	1,333	1,333			
		イ 人	28,901	29,178	28,882	28,890			
		ウ							
成果指標		ア %	94.0	96.8	98.6	98.1			
		イ %	31.5	31.4	33.6	33.7			
		ウ 人	0	0	0	0			
上位成果指標		ア %	41.2	40.5	40.8	53.0			
		イ							
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和23年結核予防法施行により、市民の胸部レントゲン撮影が始まる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成16年9月21日の法律の一部改正により、平成17年より全住民対象であったものが、65歳以上に限定されることとなる。また、肺がん検診も同時に行うことにより問診が加わり、結核検診だけの時と比べて会場が限定された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
結核・肺がん検診になったことにより会場が限定され、高齢者が行きづらくなり受診率が低下した。地区により会場を増やしてほしい旨の要望がある。BCG予防接種も、改正前は4歳未満であった対象者が6ヶ月未満となり、接種期間が短くなったことにより病気等で接種できない乳幼児がいる。	

事務事業名	結核予防事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 類似事業なし。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	結核肺がん検診の会場についても、若干の検診場所の変更の要望があり、その都度、対応しており、今のところ、この事業は適切に行われている。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							

No.	460-170	事務事業名	健康教育事業				所属部	保健福祉部
							所属課	健康増進課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあいまちづくり				課長名	宮本順子
	施策名	0 2	健康づくりの推進				所属G(係)	健康増進グループ
	基本事業名	0 2	健康管理の実践支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 4	0 1	0 4	74015	健康教育事業	健康増進法	

<b>事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)</b> 生活習慣病の予防、介護を要する状態にならないための予防対策、その他健康管理に関する教室を、がん検診・基本健康診査結果報告会といった市民が集まる機会を利用し、保健センター・各地区の公民館等で実施する。		<b>事業期間</b> <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 58 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )
--	--	---

**1 現状把握の部(DO)**

<b>(1) 事務事業の目的と指標</b> 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) 事務事業の概要と同じ。		<b>活動指標(事務事業の活動量を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 開催回数</td><td>回</td></tr> <tr><td>イ 参加者数(延べ)</td><td>人</td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 開催回数	回	イ 参加者数(延べ)	人	ウ	
名称	単位									
ア 開催回数	回									
イ 参加者数(延べ)	人									
ウ										
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度と同様		<input checked="" type="checkbox"/>								
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民		<b>対象指標(対象の大きさを表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 人口</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 人口	人	イ		ウ	
名称	単位									
ア 人口	人									
イ										
ウ										
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 健康に関する正しい知識が得られる。		<input checked="" type="checkbox"/>								
結果(どんな結果に結び付けるのか) 疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。		<b>成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 参加者数(延べ)</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 参加者数(延べ)	人	イ		ウ	
名称	単位									
ア 参加者数(延べ)	人									
イ										
ウ										
		<b>上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</b> <table border="1"> <tr><th>名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア 健診を受診した市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td></tr> </table>	名称	単位	ア 健診を受診した市民の割合	%	イ		ウ	
名称	単位									
ア 健診を受診した市民の割合	%									
イ										
ウ										

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円	321	478			
		国庫支出金	千円	321	478		627	
		都道府県支出金	千円			626		
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	3,230	2,236	4,577	5,636	
	事業費計(A)	千円	3,872	3,192	5,203	6,263		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	3,872	3,192	5,203	6,263		
活動指標	ア	回	221	216	165	220		
	イ	人	8,473	7,258	3,439	7,000		
	ウ							
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア	人	8,476	7,258	3,439	7,000		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	41.2	40.5	40.8	53.0		
	イ							
	ウ							

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b> この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 昭和58年度の老人保健法に基づき開始した。平成20年度からは健康増進法に基づき実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 生活習慣病予防対策としてメタボリックシンドロームに着目した特定健診・特定保健指導が平成20年度から開始された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 市民より健康管理に役立つことができよかったですと言われている。	

事務事業名	健康教育事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民と一緒に企画・運営・実施が出来るように検討したい。																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 平成20年度から、特定健診・特定保健指導が開始され、生活習慣病予防対策の手法が変わったため、健康教育の実績が減った。平成21年度は、生きがい健康づくり推進モデル事業を7地区で実施し、地区のリーダーと共に地域の健康づくりを推進していくため、波及効果が期待できる。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持																					
低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					

No.	460-180	事務事業名	健康手帳交付事業				所属部	保健福祉部
							所属課	健康増進課
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあうまちづくり				課長名	宮本順子
	施策名	0 2	健康づくりの推進				所属G(係)	健康増進グループ
	基本事業名	0 2	健康管理の実績支援				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 4	0 1	0 4	74010	健康手帳事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
健康手帳は各種検診、健康教育、健康相談等について記録し、自らの健康管理に役立てるもので、市の健診等を受けた者で希望する者に交付する。		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 59 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
事務事業の概要と同じ		ア 交付冊数	
		冊	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	
前年度と同様		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
健康教育・健康相談・機能訓練又は訪問指導を受けた者		名称	
高齢者の医療の確保に関する法律第18条に定める特定健康診査、同法第125条に定める健康診査又は健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業を受けた者。		単位	
		ア 40歳以上の人口	
		人	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
自らの健診の結果等を記録することにより自らの健康管理に活用することができる。		名称	
		単位	
		ア 交付冊数	
		冊	
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。		名称	
		単位	
		ア 健診を受診した市民の割合	
		%	
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円	78	55				
		都道府県支出金	千円	78	55	128	111		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	78	55	72	90		
		事業費計(A)	千円	234	165	200	201		
トータルコスト(A)+(B)		千円	234	165	200	201			
活動指標		ア 冊	2,717	2,037	1,932	2,100			
対象指標		ア 人	67,517	68,163	68,873	70,000			
成果指標		ア 冊	2,717	2,037	1,932	2,100			
上位成果指標		ア %	41.2	40.5	40.8	53.0			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和58年から老人保健法の実施に基づき開始し、平成20年度からは健康増進法に基づき実施している。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
法改正により内容が充実してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
住民からは、健康管理に役立つとの意見がある。	

事務事業名	健康手帳交付事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	活用方法を周知し、所持者の健康管理に役立てられるよう検討する。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	コスト																						
	削減	維持	増加																				
向上																							
維持																							
低下																							
<改革改善案> 健診未受診者・手帳紛失者への意識啓発を行い、手帳の有効活用を図る。																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							



事務事業名	健康相談事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																					
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	健康相談を行うことで、正しい知識の普及を図るとともに、適切な指導や支援を行い、「自らの健康は自らが守る」という認識と自覚を高め、壮年期からの健康の保持増進に取り組むことができ、その結果医療費抑制や要介護状態の予防につながる。																						
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	健康増進法に基づき実施する事業であり、住民の健康増進に資するもので妥当である。																						
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	健康増進法に基づき実施する事業であり、住民の健康増進に資するもので妥当である。																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	事業についての住民への周知徹底を図ることで、利用者の増加は見込める。																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	住民の心身の健康に関する相談ができる機会を失うことになる。																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	健康についての健康相談、情報提供を無料でやっているところは他にない。																						
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	事業費のほとんどが、健康相談実施のための医師、歯科医師等専門職の報酬費であり削減余地はない。																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	保健師等、職員でしか対応できない業務等があり、削減できない。																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	市民全員を対象としているため、公平・公正である。																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	周知を徹底する必要がある。																								
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
		<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)																								
<改革改善案> 広報などを活用し、事業の周知を図っていく。																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										



No.	460-200	事務事業名	寝たきり訪問歯科健診事業				所属部	保健福祉部
			所属課	健康増進課				課長名
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあまちづくり				所属G(係)	健康増進グループ
	施策名	0 2	健康づくりの推進				電話番号	45-5111
	基本事業名	0 2	健康管理の実践支援					
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 4	0 1	0 4	74040	成人歯科保健事業	在宅寝たきり者等訪問歯科保健事業実施要綱	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
在宅寝たきり者から訪問歯科健診の要望があった場合、歯科衛生士による訪問調査を行い、その結果を歯科医師に報告する。歯科医師は訪問歯科健診を実施し、事後の指導・支援につなげる。 対象者 1. 市内に在住する寝たきりの者、またはこれに準ずる者。 2. 通院は困難であるが、在宅での歯科健診及び保健指導を受けることが可能である者。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 8 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標													
手段(主な活動)	活動指標(事務事業の活動量を表す指標)												
20年度実績(20年度に行った主な活動) 広報を行ったが、申請件数は0件であった。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">名称</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>申込者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	名称		単位	ア	申込者数	人	イ			ウ		
名称		単位											
ア	申込者数	人											
イ													
ウ													
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 8件を計画している。広報を行う。													
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 在宅寝たきり者	<table border="1"> <tr><th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>申込者数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位	ア	申込者数	人	イ			ウ		
対象指標(対象の大きさを表す指標)		単位											
ア	申込者数	人											
イ													
ウ													
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 口腔機能が向上する。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>訪問歯科健診を受けた人数</td><td>人</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位	ア	訪問歯科健診を受けた人数	人	イ			ウ		
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		単位											
ア	訪問歯科健診を受けた人数	人											
イ													
ウ													
結果(どんな結果に結び付けるのか) 疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。	<table border="1"> <tr><th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th><th>単位</th></tr> <tr><td>ア</td><td>健診を受診した市民の割合</td><td>%</td></tr> <tr><td>イ</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ウ</td><td></td><td></td></tr> </table>	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位	ア	健診を受診した市民の割合	%	イ			ウ		
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		単位											
ア	健診を受診した市民の割合	%											
イ													
ウ													

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	258	65	0	207		
		事業費計(A)	千円	258	65	0	207		
		トータルコスト(A)+(B)	千円	258	65	0	207		
活動指標	ア	人	0	5	0	8			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人		5	0	8			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	人		3	0	8			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	41.2	40.5	40.8	53.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平成8年歯科医師会からの要望により、訪問歯科診療につなげるため実施している。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成12年度から介護保険が実施され、申請者数が減少している。平成19年度は、事業継続について歯科医師会と協議を行い、介護支援専門員に周知を図るなど行っている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 議会で更なる広報をするように要望がありました。

事務事業名	寝たきり訪問歯科健診事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	寝たきり歯科訪問健診事業を行うことにより、在宅寝たきり者及びその家族が口腔ケアの指導を受け、その結果口腔機能向上につながり、寝たきり者に多い誤嚥性肺炎の防止になり、要介護状態の悪化を防ぐことができる。また、歯科医師会との連携も図れ、訪問歯科診療につながれる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	介護保険と医療保険により、訪問歯科診療の体制が整いつつあるが、霧島市においては市民の口腔ケアに対する意識向上及び体制整備の調整、とりまとめを目的として行政が支援する必要がある。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象者は、在宅寝たきり者で通院が困難であるため、在宅で歯科健診を受けられることは、生活の質の向上につながる。
成果の向上 余地	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	市民への広報の強化や介護支援専門員との連携を図ることで向上余地がある。	
	廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	介護保険と医療保険により、訪問歯科診療の機会があるため。	
類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↘ 介護保険と医療保険により、訪問歯科診療の機会があるため。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘	
目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘	
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	事業費は、歯科医師、歯科衛生士の謝金であるため、削減余地はない。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	主に嘱託歯科衛生士1名で対応しており、削減余地はない。
受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	
事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	申込者は年度内に受診できるのは1回であるため、公平・公正である。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成20年度実績は0件だった。事業の継続について見直す必要がある。																	
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																	
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<改革改善案> 平成21年度に広報を行い、実績の向上がなければ廃止の方向で検討していく。																	
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持 低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																		

No.	460-210	事務事業名	訪問指導事業	所 属 部	保健福祉部
		政策名	0 5 たすけあい支えあうまちづくり	所 属 課	健康増進課
		施策名	0 2 健康づくりの推進	課 長 名	宮本順子
政策体系	基本事業名	0 2 健康管理の実績支援	所 属 G ( 係 )	健康増進グループ	
			電 話 番 号	45-5111	

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令	健康増進法
	一般	0 4	0 1	0 4	74030	訪問指導事業	根拠	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
療養上の保健指導が必要と認められる市民に対して、保健師等が家庭訪問を行い、健康管理や家庭での療養方法に関する指導を行う。また、保健・医療・福祉サービスに関する情報を提供し、在宅で自立した生活が送れるよう支援する。	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 58 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
19年度実績(19年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同じ	ア 訪問件数(延べ)	件
20年度計画(20年度に計画している主な活動)	前年度と同じ	イ	
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	健康教育・健康相談・機能訓練又は訪問指導を受けた者 高齢者の医療の確保に関する法律第18条に定める特定健康診査、同法第125条に定める健康診査又は健康増進法第19条の2に基づく健康増進事業を受けた者。	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	自らの健診の結果等を記録することにより自らの健康管理に活用することができる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。	ア 19歳以上の人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 訪問件数(延べ)	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 健診を受診した市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源内訳	千円	88	83				
		国庫支出金	千円	88	83				
		都道府県支出金	千円			139	139		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	1,894	2,152	1,405	1,156		
	事業費計(A)	千円	2,070	2,318	1,544	1,295			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,070	2,318	1,544	1,295			
活動指標	ア	件	743	1,026	655	630			
	イ								
	ウ								
対象指標	ア	人	100,639	101,632	101,793	101,000			
	イ								
	ウ								
成果指標	ア	件	743	1,026	655	630			
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア	%	41.2	40.5	40.8	53.0			
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 昭和58年からの老人保健法の実施に基づき開始し、平成20年度からは健康増進法に基づき実施する。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 法改正により内容が充実してきている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 住民からは、健康管理に役立つとの意見がある。

事務事業名	訪問指導事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	--------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない 無料で訪問指導事業を実施する機関はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	健診未受診者への受診勧奨や、要精密検査対象者で未受診者への受診勧奨を強化することで、訪問指導事業の成果向上と健診の受診率向上が期待できる。																	
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 健診未受診者への受診勧奨や、要精密検査対象者で未受診者への受診勧奨の対象者を把握し、訪問指導を強化する。	(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持 低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持 低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持 低下																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																		

No.	460-220	事務事業名	予防接種事業	所属部	保健福祉部
				所属課	健康増進課
				課長名	宮本順子
政策体系	政策名	0 5	たすけあい支えあいまちづくり	所属G(係)	地域保健G
	施策名	0 2	健康づくりの推進	電話番号	45-5111
	基本事業名	0 2	健康管理の実践支援		

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	予防接種法
	一般	0 4	0 1	0 2	61015	予防接種事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		事業期間
下記の予防接種を行う。(市内の委託医療機関による個別接種) BCG(結核)予防接種・・・3～6ヶ月未満児 種混合予防接種・・・3～90ヶ月未満児 (麻疹風疹混合)予防接種(1期)・・・1～2歳児、MR(麻疹風疹混合)予防接種(2期)・・・小学校就学1年前 MR(麻疹風疹混合)予防接種(3期)・・・中学1年生、MR(麻疹風疹混合)予防接種(3期)・・・高校3年生 二種混合予防接種・・・11～13歳未満児 インフルエンザ予防接種・・・65歳以上の方 ポリオ予防接種・・・3～90ヶ月未満児・・・(各総合支所による集団接種)		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ (S 43 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度～      年度)

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様。	ア 接種者数	人
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様。	イ 委託医療機関数	箇所
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	予防接種法において定められている年齢にある者	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	感染症の発生を予防できる	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。	名称	単位
		ア 予防接種対象者数	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 予防接種率	%
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	単位
		ア 健診を受診した市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)
投入量	事業内訳	財源				
		国庫支出金	千円			
		都道府県支出金	千円			
		地方債	千円			
		その他	千円			
		一般財源	千円	78,954	87,043	110,059
	事業費計(A)	千円	78,954	87,043	110,059	111,303
	トータルコスト(A)+(B)	千円	78,954	87,043	110,059	111,303
活動指標	ア 人	29,205	31,292	34,706	34,710	
	イ 箇所	38	36	39	39	
	ウ					
対象指標	ア 人	45,174	44,702	47,095	45,078	
	イ					
	ウ					
成果指標	ア %	64.7	70.0	73.7	77.0	
	イ					
	ウ					
上位成果指標	ア %	41.2	40.5	40.8	53.0	
	イ					
	ウ					

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和23年予防接種法施行。昭和39年ポリオが、昭和43年に三種混合が、昭和52・53年に風しんと麻しんが定期接種化された。平成13年より高齢者のインフルエンザ予防接種が二類定期予防接種となる。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
平成6年予防接種法改正により集団接種での実施から個別接種が原則とされるようになる。さらに予防接種が義務から努力義務に変わり保護者の判断によるところが大きくなる。H17.4～BCG直接接種、H18.4～麻しん風しん2回接種が導入された。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
市民からポリオの行政措置の無料化の要望がある。	

事務事業名	予防接種事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	予防接種事業を行うことで、感染症の発生を予防でき、疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。																						
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	予防接種法で義務付けられており、予防接種を行うことは市の重要な責務であり、疾病の予防・医療費の削減につながる。																						
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	予防接種法により対象、意図も明確にされており、適切である。																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	協力医療機関での接種しやすい体制づくりをすることにより、接種率の向上につながると考えられる。インフルエンザの公費負担額を上げると、接種率の向上につながると考えられる。																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	義務的業務で廃止・休止できない。疾病の集団発生など市民の健康な生活につながらない。医療費の削減には必要である。																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	類似事業なし。																						
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	接種医の委託料は、算定の根拠が決めづらい。診療単価から算出すると高くなる。ワクチンは、入札しており削減の余地がない。																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	予防接種事故防止から集団接種の場合、職員数の削減はできない。																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	費用負担については、インフルエンザの自己負担額を上げると接種率が下がると考えられるため、現状維持が望ましい。																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		この事業は適切に行われているが有効性について若干の見直し余地がある。(ポリオ投与に協力していただく医師が少ない。)																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
<改革改善案> 予防接種検討委員会等で協力医療機関の接種体制について協議する必要がある。																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 インフルエンザの公費負担を上げると接種率の向上につながると考えられるが財政の厳しい折、早急には、改善は見込めない。																										



事務事業名	骨粗鬆症検診事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている [理由] ↷	検診を行うことで、寝たきりへつながる骨折等の基礎疾患である骨粗鬆症の早期発見・早期治療を行うことができる。																						
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である [理由] ↷	市町村は健康増進法に基づく保健事業の一つとして計画的に事業を推進しなければならない。																						
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である [理由] ↷	健康増進法で定められた対象者と対象年齢以外の女性も実費で実施できており適切である。																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある [理由] ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない [理由] ↷	受診勧奨方法を見直すことで成果の向上余地がある。																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 [その内容] ↷	検診がなくなると骨粗鬆症の状態を知る機会がなくなる。(一部の病院でしか実施が難しい。)骨粗鬆症は骨折などの基礎疾患となることから、それらがおきることによって快適な高齢期を迎えることができなくなる。																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない [理由] ↷																							
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	対象年齢以外の実費徴収である。																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない [理由] ↷	現在女性検診と同時実施しており、効率よく事業実施できている。																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある [理由] ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である [理由] ↷	全地区同じ検診形態で実施できている。対象年齢以外の方も集団検診での実施のため、安価な金額で受診できる。																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	受診勧奨方法を見直すことで成果の向上余地がある。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input type="checkbox"/> 従来通りで特に改革改善をしない		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
<改革改善案> 女性がん検診と同時に実施しているため、女性がん検診の受診率向上を図り、骨粗鬆症検診の受診を促進させる。																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										





事務事業名	社会復帰学級運営事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	精神障害者社会復帰学級を行い、社会復帰を促進することで、自立と社会経済活動ができ、病状の安定化が図れ、健康増進のための健康管理ができるようになる。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」では市町村は、精神障害者の社会復帰及びその自立と社会経済活動への参加に対する地域住民の関心と理解を深めるよう努めなければならない、精神障害者及びその家族からの相談に応じ指導しなければならないとあり、社会復帰の促進は市の重要な責務である。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘
	対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	対象を通院治療中の精神障害者と限定しているが、精神障害者の社会復帰を目的とした教室なので適切である。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘
	成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	横川地区で実施しているため、交通の便がなく参加できない対象者もいる。参加しやすい体制にしていく必要がある。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘
公平性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	現在参加している精神障害者にとっては、仲間作りの場であり、行き場の一つとなっていることから廃止することはできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↳ 医療機関が行っているデイケアがある。 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できない ↘
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	横川地区周辺には医療機関がなく、参加したくても遠くて行けない現状がある。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	社会復帰学級を運営に必要な、精神保健福祉士及び看護師の報酬費であり、削減することはできない。
公平性 評価	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘
	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	すこやか保健センター及び各総合支所の保健師及び福祉担当者から、毎月の担当地区を決め、交代で従事している。一地区で実施しているため、一地区の職員の負担にならないようにすることと、職員の資質向上を目的としている。現在のところ削減余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘ <input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	参加者が少ないため、一部の受益者に偏っている感もある。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																										
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	参加者が参加しやすい体制づくりを行い、参加者を増やし、社会復帰につなげていく必要がある。																										
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																										
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
				コスト																							
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
低下	維持																										
	低下																										
<改革改善案> 対象者については、霧島市周辺の医療機関に推薦してもらい把握しており、広報等で広く参加者の募集をしていないので、今後は広報等で募集するなど行っていく必要がある。また、広報を行うことで、市民への周知が図れ、理解を深める機会にもなる。 参加者が参加しやすい体制づくりとしては、送迎など検討していく必要がある。																											
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 送迎については実施が妥当かを検討する必要がある。																											

No.	630-580	事務事業名	隼人国民保養センター管理事業			所 属 部	商工観光部	
		政策名	0 5	たすけあい支えあうまちづくり			所 属 課	観光課
		施策名	0 2	健康づくりの推進			課 長 名	横手 航太郎
政策体系	基本事業名	0 2	健康管理の実践支援			所 属 G ( 係 )	観光グループ	
		電話 番号	45-5111					
予算科目	会計 一般	0 7	0 1	0 5	事業 104090	事業名 施設管理費	法令 霧島市隼人国民保養センターの設置及び管理に 根拠 に関する条例及び同規則	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
昭和47年に地域住民及び大衆のための休養施設として、霧島市隼人町西光寺521番地1に設置された。現在は健全なレクリエーション活動と健康増進のために浴場を地域住民に開放している。施設の運営管理については、JAあいらに委託している。 定休日：毎週火曜日、年末年始 開館時間：午前11時～午後7時 入浴料金：大人100円、中人80円、小人20円	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 47 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 施設の営業日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 入浴者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	国民保養センターに安心して入浴できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための、健康管理ができるようになる。	ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア クレーム件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 検診を受診した市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	2,011	1,688	1,737	1,748		
	事業費計(A)	千円	2,011	1,688	1,737	1,748			
活動指標	ア 日	266	309	311	311				
	イ 人	11,219	13,909	15,326	15,500				
	ウ								
対象指標	ア 人	127,615	127,773	127,450	128,383				
	イ								
	ウ								
成果指標	ア 件	0	0	0	0				
	イ								
	ウ								
上位成果指標	ア %	41	45	49	53				
	イ								
	ウ								

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 病気に効き目があることから、市民の保護と福祉、市民福祉の向上を目的として温泉の開設をした。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 特に変化なし。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 特になし。

事務事業名	隼人国民保養センター管理事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>					
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?			
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?			
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?			
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?			
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?			
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 神の湯、浜之市温泉センター、関平温泉、溝辺地区入浴施設、塩浸温泉他 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?			
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)			
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?			
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>					
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)			
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		施設の存在価値という観点では、施策に結びついているが、現在観光課が所管しており、観光課が所管している状態では成果向上余地はない。			
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)			<input type="checkbox"/> 削減 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 増加 向上 成果 維持 低下		
<改革改善案> 健康増進課等の福祉関連部署へ所管を移す。					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業の対象・意図に沿った所管の配置を企画政策課・行政改革推進課で調整してもらうよう要望する。					

No.	630-590	事務事業名	関平温泉管理運営事業				所属部	商工観光部
							所属課	観光課
政策体系	政策名	05	たすけあい支えあまちづくり				課長名	横手航太郎
	施策名	02	健康づくりの推進				所属G(係)	関平温泉・関平鉱泉販売所
	基本事業名	02	健康管理の実践支援				電話番号	78-2950
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	02	01	15	2410	関平温泉管理事業	特になし	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
昭和52年に関平鉱泉が病気に効き目があることから、温泉の開設をした。当時の温泉施設は立地条件が悪く、利用者に不便なため、平成4年に鉱泉販売所に隣接する現在の場所に移転した。 大浴場は、関平温泉と新床温泉の2種類のお湯を楽しめ、また貸切風呂が2部屋ある。 【入浴料】 大人300円、子供150円。貸切風呂：2時間1,200円。 付帯施設(自炊施設)：日帰り920円、宿泊1,530円 【休休日】 第1・第3火曜日 毎月26日は「風呂の日」として、入浴料無料(貸切風呂は別)	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 52 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (            年度 ~            年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 施設の営業日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	前年度と同様	イ 入浴者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	市民	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	関平温泉に安心して入浴できる。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための、健康管理ができるようになる。	ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア クレーム件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 健診を受診した市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳						
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	6,116	7,907	6,159	6,160	
	事業費計(A)	千円	6,116	7,907	6,159	6,160		
活動指標	ア 日		341	342	341	341		
	イ 人		23,995	26,478	27,000	27,500		
	ウ							
対象指標	ア 人		127,941	127,736	128,000	128,500		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 件		2	4	3	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %		41	45	49	53		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
昭和52年に関平鉱泉が病気に効き目があることから、市民の保護と福祉、市民福祉の向上を目的として温泉の開設をした。当時の温泉施設は立地条件が悪く、利用者に不便なため、平成4年に鉱泉販売所に隣接する現在の場所に移転した。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
特に変化なし。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
利用者からは低料金での日帰り等の入浴施設が少なく存続の要望と、健康管理の面からも存続が必要との意見がある。

事務事業名	関平温泉管理運営事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷ 関平温泉に入浴することにより、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができ、市民の健康づくりの推進につながるため結びついている。
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷ 市が保有する関平温泉であり、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができる同温泉の管理運営を市が行うことは妥当である。
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷ 対象は施設利用者である市民であるので妥当である。意図も維持管理を徹底し安心して多くの方々に利用してもらうことにより、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができることに繋がり妥当である。
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷ 関平温泉の効能を市民にわかりやすく説明するためのパンフレットの作成や、市報での紹介を通じて利用者の増加が見込まれるので成果の向上余地がある。
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷ 効能が優れ、低料金での日帰り入浴が可能な入浴施設がなくなれば、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができなくなり影響がある。
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ 神の湯、浜之市温泉センター、国民保養センター、溝辺地区入浴施設、塩浸温泉他 <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷ 他の類似事業も対象・意図が同じであり、管理の窓口を統一すれば市内の温泉施設管理がより効率よく行えると思われる。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 温泉管理には必要最低の経費で賄っており、削減の余地はない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷ 差引事務等は最低限の事務であり、維持管理についてもプロパー(臨職)職員3名で対応しているため、削減の余地はない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷ 施設を快適に利用していただくために入浴料を徴収しているが、民間施設と比べて最低の料金であり、公平・公正であると思われる。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
<table border="0"> <tr> <td>目的妥当性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>有効性</td> <td><input type="checkbox"/> 適切</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>効率性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>公平性</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 適切</td> <td><input type="checkbox"/> 見直し余地あり</td> </tr> </table>	目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	<p>関平温泉は効能もすばらしく、現在の管理方法で問題はないと思われるが、市内の他の類似事業と窓口を一本化することにより、施設管理がより効率的に行えるものと考えられる。</p>										
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 温泉施設の窓口の一本化	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業の対象・意図に沿った所管の配置を企画政策課・行革改革推進課で調整してもらうよう要望する。																							

No.	630-600	事務事業名	浜之市ふれあいセンター管理事業			所 属 部	商工観光部	
		政策名	0 5	たすけあい支えあまちづくり			所 属 課	観光課
		施策名	0 2	健康づくりの推進			課 長 名	横手 航太郎
政策体系	基本事業名	0 2	健康管理の実践支援			所 属 G ( 係 )	観光グループ	
		電話 番号	45-5111					
予算科目	会計 一般	0 7	0 1	0 5	事業 104035	事業名	浜之市ふれあいセンター管理費	
						法令 根拠	浜之市ふれあいセンターの設置及び管理に関する条例	

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
平成14年に林業の振興と地域住民に対する森林整備の必要性、地域材利用の意義についての普及活動の推進、市民福祉、健康増進及び地元産業育成を図るために霧島市隼人町真孝390番地外に設置された。施設の運営・管理については、霧島市シルバー人材センターに委託している。温泉施設、研修室、売店、足湯などがある。 定休日：毎週月曜日、年末年始 営業時間：9:00～22:00 入浴料金：大人150円、中人120円、小人80円	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 14 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (        年度 ~        年度 )

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)	事務事業の概要と同様	ア 営業日数	日
21年度計画(21年度に計画している主な活動)	指定管理者制度の導入	イ 入浴者数	人
対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	市民 シルバー人材センター	ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	安心して入浴できる。 委託料を交付されることによって、施設の管理運営を円滑に行える。	対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか)	疾病の予防、早期発見、早期治療、健康増進のための健康管理ができるようになる。	ア 人口	人
		イ	
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		ア 苦情件数	件
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		ア 検診を受診した市民の割合	%
		イ	
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円	8,524	9,332	9,864	9,774	
		一般財源	千円	5,131	4,288	4,324	2,563	
	事業費計(A)	千円	13,655	13,620	14,188	12,337		
活動指標	ア 日		311	311	312	311		
	イ 人		30,802	33,923	35,608	36,000		
	ウ							
対象指標	ア 人		127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ							
	ウ							
成果指標	ア 件		0	0	0	0		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア %		41	45	49	53		
	イ							
	ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
平成7年の当地区区画整理事業都市計画決定及び平成9年の同事業の事業計画決定を受けて、当該用地を買収し、地元住民の要望に応じて同センターが建設された。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？
利用者が増加しており、地元民の健康管理には欠かせない施設と定着している。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

事務事業名	浜之市ふれあいセンター管理事業	所属部	商工観光部	所属課	観光課																										
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																															
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																													
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	浜之市ふれあいセンターに入浴することにより、疾病の予防や健康増進ができ、市民の健康づくりの推進につながるので結びついている。																													
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																													
有効性 評価	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	市が保有する浜之市ふれあいセンターであり、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができる同センターを管理運営を委託することは妥当である。																													
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																													
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は施設利用者である市民であるので妥当である。意図は維持管理を徹底し安心して利用してもらうことにより、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができることに繋がり妥当である。																													
成果の向上 余地	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																													
	地域に密着した施設であり、向上の余地はない。																														
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																													
効率性 評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	低料金で日帰りの入浴施設がなくなれば、疾病の予防や健康増進のための健康管理ができなくなり影響がある。																													
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) 関平温泉、神の湯、国民保養センター、溝辺地区入浴施設、塩浸温泉他 <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない																													
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他の類似事業も対象・意図が同じであり、管理の窓口を統一すれば市内の温泉施設管理がより効率よく行えると思われる。																													
公平性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	温泉管理には必要最低の経費で賄っており、削減の余地はない。																													
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																													
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	予算差引事務は最低限の事務であり削減余地はない。																													
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																													
	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	施設利用者には入浴料を徴収しているので公平・公正である。																													
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																															
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																													
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		市内の他の類似事業と窓口を一本化することにより、施設管理がより効率的に行えるものとする。																													
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<改革改善案> 温泉施設の窓口の一本化				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">低下</td> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																													
		削減	維持	増加																											
成果	向上																														
	維持																														
低下	維持																														
	低下																														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 事業の対象・意図に沿った所管の配置を企画政策課・行政改革推進課で調整することが必要である。																															





事務事業名	健康運動普及推進員会支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																					
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？																						
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？																						
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																				
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	この事業は適切に行われているが有効性に若干の見直し余地がある。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
		<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>▲</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>▲</td> <td></td> <td>▲</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			▲	低下	▲		▲
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			▲																						
	低下	▲		▲																						
		<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)																								
<改革改善案>																										
今後、全地区自治公民館で健康・生きがいづくり推進モデル事業を健康運動普及推進員が中心となって実施するため、今後、3年かけて推進員の養成講座を開催し推進員を増やしていく計画である。																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										



事務事業名	食生活改善推進員連絡協議会運営支援事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課
-------	---------------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】
	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	食生活改善推進員連絡協議会運営支援事業を行うことで、推進員の活動が活発になり、健康づくりに取り組みやすい環境が整う(個人を支援する環境が整う)ことに結びつく。
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】
有効性 評価	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	健康増進法第3条に基づき実施しており、食生活推進員連絡協議会運営支援事業を行うことは市の重要な責務である。また、食生活改善推進員が積極的な地域活動として健康づくりを市民と一緒にすることは、住民の健康づくりの環境整備や支援につながる。
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】
	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	対象は食生活改善推進員であり適切である。
効率性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】
	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	今後、全地区自治公民館で健康生きがいづくり推進モデル事業を食生活改善推進員が中心となって実施するため、H22年度には、養成講座を開催し食生活改善推進員数を増やす予定である。
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】
公平性 評価	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる <input type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない
	目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	他事務事業及び類似事業はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】
	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】
公平性 評価	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	補助金を削減することにより、推進員の会費の増額につながり、推進員の減少や事業の縮小が予想される。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】
公平性 評価	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	人件費の内容は、補助金等の支出等にかかる必要最小限の事務経費であり、削減の余地はない。
	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】
公平性 評価	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	この補助金は、食生活改善推進員連絡協議会に対して交付されているが、活動は広く市民を対象としており、受益者負担を求める必要はなく、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																	
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	地域に根ざした新しい事業が増えてくるため食生活改善推進員の数を増やす必要がある。																	
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 今後、(H22年度)養成講座を行い活性化を図りたい。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持低下			
				コスト														
		削減	維持	増加														
成果	向上																	
	維持低下																	
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																		

No.	460-300	事務事業名	食育推進事業				所属部	保健福祉部
							所属課	健康増進課
政策体系	政策名	05	たすけあい支えあうまちづくり				課長名	宮本 順子
	施策名	02	健康づくりの推進				所属G(係)	健康増進G
	基本事業名	04	食育の推進				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	04	01	06	957090	食育健康推進費	食育基本法	
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
市民の食生活に関する相談に管理栄養士が応じ、必要な栄養指導を行う。農政畜産課、学校教育課、NPO法人等と連携し、食育の推進を行う。 1. 市民からの電話や来庁による栄養相談。 2. 保育所の食育を支援する保育所食育支援事業。 3. 学校保健委員会などへ講話。 4. 広報紙やホームページを使用した啓発活動。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 18 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) 食育講演会の開催や保育所食育支援事業、親子料理教室等の実施 きりしま版バランスガイドの作成、活用の推進。		ア	実施回数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 前年度の内容に加え、中学生にバランスガイドの配布を行い更に、バランスガイドの活用を推進する。		イ	参加人数
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 市民		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 食育に関する意識が向上する。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
		名称	
		ア	人口
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 正しい食生活の意識を持ち実践することができる。		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	参加人数
		イ	地域や職場で健康や栄養に関する学習の場に参加した市民の割合
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	朝食を毎日取っている市民の割合
		イ	地域や職場で健康や栄養に関する学習の場に参加した市民の割合
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業内訳	財源	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円			583	238		
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	34	335	584	223		
	事業費計(A)	千円	34	335	1,167	461			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	34	335	1,167	461			
活動指標		ア	回	8	7	13	7		
		イ	人	325	295	913	940		
		ウ							
対象指標		ア	人	127,615	127,773	128,156	128,383		
		イ							
		ウ							
成果指標		ア	人	325	295	913	940		
		イ	%	30.7	29.2	29.6	32.0		
		ウ							
上位成果指標		ア	%	79.4	72.1	82.1	82.0		
		イ	%	30.7	29.2	29.6	32.0		
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成15年に健康増進法、平成17年に食育基本法により食育の推進が市町村の努力義務とされた。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 生活習慣病の増加や、食育へのニーズも高まり、市民からの栄養改善に関する相談や講師依頼が増えている。	

事務事業名	食育推進事業	所属部	保健福祉部	所属課	健康増進課																					
2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価																										
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?																						
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?																						
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?																						
有効性 評価	成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?																						
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?																						
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																				
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)																						
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)																						
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?																						
3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	成果の向上を目指して普及啓発活動が必要である。																							
有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善)		<input type="checkbox"/> 現状維持																						
		<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善)		(従来通りで特に改革改善をしない)																						
		<input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)																								
<改革改善案>																										
食育の意識向上を図るために講演会の開催や各種事業において食育に関する指導を取り入れていく必要がある。栄養士、保健師(在宅も含む)等に食育に関する研修を行い質の向上に努めるとともに関連課や食生活改善推進員等のボランティア団体との連携を深め一緒に取り組んでいく必要がある。																										
				(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>↗</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>↘</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			↗	低下	↘		
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持			↗																						
	低下	↘																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										